



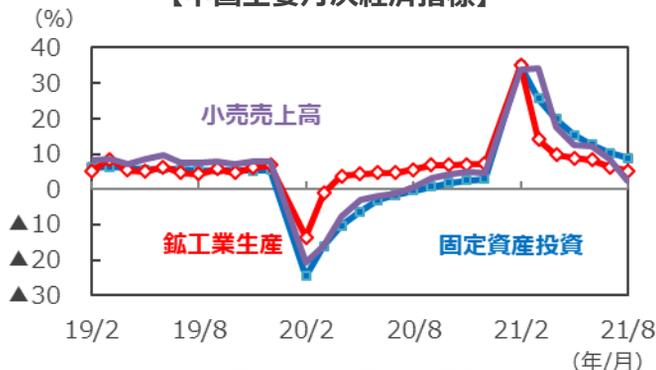
今日のトピック 8月の中国経済は減速

規制強化の影響が主因、2大連休でも消費は減速か

ポイント1 8月の主要経済指標は減速

- 15日、中国の8月の主要な経済指標が発表されました。鉱工業生産は前年同月比+5.3%（7月は同+6.4%）、小売売上高は同+2.5%（7月は同+8.5%）、固定資産投資は1～8月の前年同期比が+8.9%（1～7月は同+10.3%）となりました。いずれも前月の発表から伸びが鈍化し、市場予想も下回りました。
- 中国では7月下旬以降、新型コロナウイルスの感染が拡大しました。これに対し政府は、8月には防疫措置をはじめとする規制を強化した為、同月は経済指標が悪化しました。

【中国主要月次経済指標】

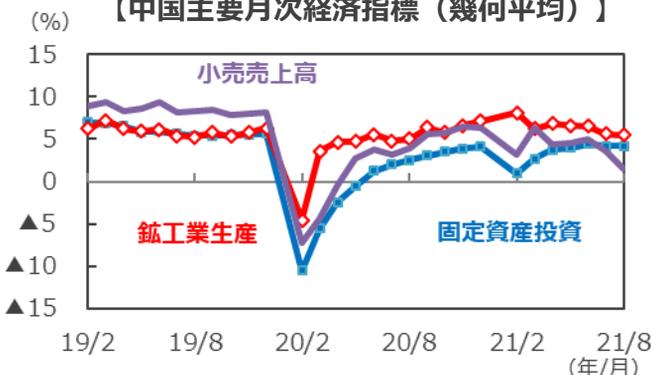


(注) データは2019年2月～2021年8月。前年同月比。
固定資産投資は年初来累計の前年同期比。
各年2月のデータは1～2月の年初来累計の前年同期比。
(出所) Bloombergのデータを基に三井住友DSアセットマネジメント作成

ポイント2 幾何平均値の減速は緩やか

- 一方、ロックダウンの影響を受けた昨年の反動を除外するため、2年間の幾何平均で見ると、鉱工業生産は+5.4%（7月は+5.6%）、固定資産投資は+4.2%と（1～7月は+4.2%）と小幅な減速にとどまりましたが、小売売上高は+1.5%（7月は+3.6%）と減速しました。

【中国主要月次経済指標（幾何平均）】



(注) データは2019年2月～2021年8月。上記グラフの2年幾何平均。
(出所) Bloombergのデータを基に三井住友DSアセットマネジメント作成

今後の展開 大型連休では消費の減速が見込まれる

- 中国政府は、8月下旬には防疫措置を大幅に緩和しています。足元で感染者が再拡大しているものの、そのほとんどが福建省で、同省のアモイ市などでは9月13日からロックダウンが始まっています。
- 今週末から始まる中秋節と、10月1日の建国記念日に始まる大型連休の国慶節では、例年帰省や旅行で移動が活発化しますが、今年は感染拡大抑制に伴う規制強化により、これらに関する消費は落ち込むと見られます。このため2021年の後半は従来よりも成長見通しが低下すると考えられ、通年でも8%台前半の成長率に落ち着くと見られます。

ここもチェック!

2021年9月14日 『ベトナム株』、コロナ感染で調整も長期的な好環境は不変
2021年9月 8日 豪中銀はテーパリングを予定通り実施

■当資料は、情報提供を目的として、三井住友DSアセットマネジメントが作成したものです。特定の投資信託、生命保険、株式、債券等の売買を推奨・勧誘するものではありません。■当資料に基づいて取られた投資行動の結果については、当社は責任を負いません。■当資料の内容は作成基準日現在のものであり、将来予告なく変更されることがあります。■当資料に市場環境等についてのデータ・分析等が含まれる場合、それらは過去の実績及び将来の予想であり、今後の市場環境等を保証するものではありません。■当資料は当社が信頼性が高いと判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。■当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらの知的所有権その他の一切の権利は、その発行者および許諾者に帰属します。■当資料に掲載されている写真がある場合、写真はイメージであり、本文とは関係ない場合があります。